

令和3年度

# 事業報告書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

公益財団法人南丹市情報センター

## 令和3年度 事業報告

地域情報通信事業は、3年間の指定管理協定期間の最終年でした。

コロナ禍の影響で社会生活が大きく変化していくなか、都市部から郊外への移住に関心が高まって南丹市への転入者が増加しており、在宅勤務や事業活動の移転等で通信環境の需要が拡大しています。南丹市インターネット新規加入支援事業を実施したことも功を奏してCATV・インターネットともに利用者が大きく増加しました。

利用者向けサービスでは、24時間いつでも支払いが可能なコンビニ収納サービスを導入するなど利便性向上となる取組みを実施し、テレビやインターネットなどの操作が苦手な方への親身なサポートに取り組むなど地域密着型サービスの利点を活かした対応を行い、利用者の満足度向上に取り組みました。

自主放送番組では、コロナ禍で地域や学校での活動が自粛されるなど外出が困難な時期であり、季節を感じる映像や地域の皆さんから寄せられた話題を取り上げることを大切にしました。参加者が集まることを制限して開催される講演会等を収録放送することで一堂に会さず自宅で観ただけのような取組みを行いました。また、家族や地域で楽しむことができる懐かしいアーカイブ番組等を放送しました。

国際交流会館の管理運営では、新たに令和3年度から3年間の指定管理協定を締結しました。コロナ禍が続くなか、京都府や南丹市と連携し新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組みを徹底し、安心して会館を利用していただけの環境を提供しました。市の要請によりイベントホールを長期利用して新型コロナワクチン集団接種会場に提供しました。利用者から感染防止を理由とする施設利用の取消があった場合にはキャンセル料を免除するなど、市民、利用者へ配慮した施設運営を行いました。

地域の文化遺産等を地域振興や観光・産業振興、地域社会の発展に活かす取組みとして実施している『森の京都「なんたん」エコミュージアム』推進事業に協力団体として参画し、実行委員会の運営支援や映像制作業務を担当し地域振興事業に取り組みました。

## 1. 加入管理業務

### (1) 加入管理

#### 【CATV基本サービス（令和4年3月末）】

◇加入者数 14,001戸

（令和3年3月末 13,906戸 / 増減数 95戸増）

◇課金対象者数 11,238戸

（令和3年3月末 11,097戸 / 増減数 141戸増）

#### 【インターネットサービス（令和4年3月末）】

◇加入者数 5,282戸

（令和3年3月末 5,188戸 / 増減数 94戸増）

◇課金対象者数 3,440戸

（令和3年3月末 3,340戸 / 増減数 100戸増）

※ 加入者数の推移グラフは別紙を参照ください。

CATV課金対象者数については、市全体で141戸増加しました。各地域の内訳は、園部町で146戸増加、八木町で7戸減少、日吉町で4戸減少、美山町で6戸増加しました。

インターネット課金対象者数については、市全体で100戸増加しました。内訳は、園部町で38戸増加、八木町で4戸減少、日吉町で15戸増加、美山町で51戸増加しました。

増加理由は移住促進等による転入者の増加、コロナ禍の影響や働き方改革等により在宅勤務や事業活動の移転等で通信環境の需要が増加していることなどによるものとみています。

### (2) 加入促進

コロナ禍の収束が見えないなか、都市部から郊外への移住に関心が高まっていることや在宅勤務等で家庭でのインターネット需要が拡大していることを受け、南丹市とJR西日本が連携して実施した移住促進の実証実験期間に併せて、家庭でのインターネットサービスに係る費用負担支援を目的に「南丹市インターネット新規加入支援事業」を自主事業として実施しました。

本事業では、受付期間（第1期 6月～8月／第2期 11月～12月）に新規加入された方を対象に初期費用の一部を商品券で支給するもので、91件の利用がありました。

（第1期 66件 / 第2期 25件）

### （3） パソコン講座

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、共催団体との調整により中止しました。

### （4） 利用者サービス向上の取組（コンビニ収納サービスの導入）

CATV等利用料・手数料・工事費等各種料金の支払いについて、利用者サービスの向上を図り、新型コロナウイルス感染防止策として窓口での人との接触の軽減が図れることから、24時間いつでも支払いが可能となるコンビニ収納サービスを開始しました。

### （5） 利用料金の滞納徴収

現年度も含め最大6ヶ月滞納している加入者に対してCATV遠隔制御端末を活用した停止対応を行うなど、利用料の確実な徴収に取り組みました。

◇CATV利用料	現年度収納率	99.36%	(206,653,740円)
	過年度滞納分収納率	30.36%	(1,489,460円)
◇インターネット利用料	現年度収納率	99.71%	(128,055,300円)
	過年度滞納分収納率	82.07%	(340,410円)

## 2. 施設管理業務

### （1） 安定したテレビ・ラジオ再放送・インターネットサービスの実施

◇自主放送（なんたんテレビ）1波

◇データ放送サービス

地域気象情報、台風等の災害時の緊急情報、地域情報、生活情報、イベント情報、学校からのお知らせ、なんたんテレビ文字ニュース、京都新聞文字ニュースほか

◇地上波テレビ 再放送 8波

◇BS・CS 再放送（同一周波数パススルー方式）

BS 35波 / うちBS（4K）6波

CS 54波

◇FMラジオ 再放送 4波

◇インターネット接続サービス（通信速度100Mbps）

光ファイバー方式によるテレビ・ラジオ・高速インターネット接続サービスの通信機器について、SNMP常時監視を行い安定した運用を実施しました。

令和4年1月18日に美山町芦生地区で府道法面の崩落が発生して光幹線が断線し、一部地域でテレビ・ラジオ・高速インターネット接続及び携帯基地局への通信サービスが停止しました。災害規模が大きく二次災害の可能性もあったことから早期復旧が困難な状況でしたが、京都府・南丹市・関係機関と連携して復旧に向けた調整を行い、1月25日に仮復旧工事を完了しました。

## （2） 放送通信設備の更新・維持管理

◇自主放送送出サーバーの更新

平成25年度に整備した「自主放送送出サーバー」は、自主放送の心臓部となる重要な機器であり故障すると放送に支障がでるため、南丹市との協議により令和4年1月に更新しました。現在は安定した運用を行っています。

◇統合管理サーバー・トラフィック監視サーバーの更新

CATV加入者宅に設置しているV-ONU/D-ONU機器の制御・登録・通信履歴及びセンター設備の機器と状態監視を一元管理する「統合管理サーバー」、また南丹市全域及び各サブセンター単位の通信量を監視・管理している「トラフィック監視サーバー」は、老朽化して更新が必要となっていました。重要機器であることから、南丹市との協議によりトラフィック監視サーバーについては令和3年9月に、統合管理サーバーは11月に更新しました。

#### ◇上位通信回線の増強について

コロナ過により暮らしや仕事の仕方の変化が大きく自宅でのインターネット利用が増えています。トラフィック監視を行うなかで最大3.6Gbpsまで通信量が増大したことから回線の増強が必要と判断し、プロバイダーのJCOM社と協議を行い現状の4Gbpsから8Gbpsへ上位通信回線の増強を行いました。

#### ◇八木・日吉・美山地区の放送設備の更新

平成18年度から19年度に整備した放送設備については10年以上が経過して老朽化が進んでいることから、南丹市担当課と協議を行い令和3年度予算に計上いただきましたが、ケーブルテレビ事業の民間移管が決定し、市と民間事業者との調整により設備更新を見送ることになりました。

#### ◇その他の主な設備修繕

- ・美山サブセンター自家発電機修理
- ・日吉サブセンター自家発電機修理
- ・BSパラボラアンテナ用同軸線張替え
- ・新町受信点SPユニット交換

#### (3) CATV、インターネット利用者へのサポートサービスの向上

テレビ放送やインターネット通信について理解に乏しい方や操作が苦手な方へ、電話サポートによる親身なアドバイスやパソコン持ち込みによる設定・使用説明等を行いました。状況に応じて必要な方には訪問サポートを実施するなど、地域密着型サービスの利点を活かした利用者の満足度向上につながる対応に取り組みました。

#### (4) 工事件数

【工事件数（令和3年4月～令和4年3月）】

- ◇支障移転等による幹線工事数 167件（前年同期比18件増）
- ◇新規加入・解約・休止・復旧・移設等工事数 658件（前年同期比28件減）

### 3. 自主放送番組制作業務

#### (1) 自主放送・企画番組制作

ニュースや企画番組、学校番組等の制作において、地域や学校、集落支援員、南丹市、京都府など各種団体と連携して情報収集及び取材にあたりました。警察署、消防署、南丹市社会福祉協議会や南丹地域包括支援センター等の団体と連携して啓発番組や生活情報を放送しました。今年度は、東京オリンピックやパラリンピックに関連した番組にも取り組みました。

コロナ禍の影響で学校では授業参観も行えない状況でしたが、教育委員会や学校、幼稚園、保育所等と連携して学校行事の日常の取組みを放送しました。参加者を制限した行事では収録放送や生中継を行い、番組を通して市民に広く伝えました。地域の様々な行事が中止となり取材や収録ができないときもありましたが、そんな時だからこそ地元に着したケーブルテレビ局として、自宅のテレビで楽しめる過去の懐かしい映像を再編集した番組を制作し放送しました。

#### ◇東京オリンピック、パラリンピック関連

##### ・もぎたてニュース特集

東京2020オリンピック（京都府の聖火リレーに参加）

今注目のオリンピック種目（地元高校のクラブを紹介「アーチェリー、クライミング」）

東京2020パラリンピック（小学生が採火した「希望の火」を京都府へ）

#### ◇収録番組・啓発番組

##### ・講演会

南丹市図書館講座開設事業

京都大学フィールド科学教育研究センター芦生研究林100周年記念講演会

未来へつなぐ写真展講演会「未来へつなぐ芦生研究林」

森里文化セミナー2022「京都丹波の中世城館」

企業・団体向けセミナー「200年の伝統を現代へ通用するワザに」

森の京都「なんたん」エコミュージアム公開講座（3講座）

世界でいちばん貧しい元大統領と出会った大学生講演会

人権研修講演会「コロナ禍の中、差別と人権について考える」

南丹市PTA連絡協議会子育て研修会

南丹市人権研修会「インターネットによる人権侵害」

日吉町ボランティア交流会

・発表会

園部小学校鼓笛演奏会

園部小学校ふれあい太鼓演奏会

京都大学芦生研究林100周年記念講演会「未来へつなぐ芦生研究林」・記念式典

中学校文化祭 体育発表会

中学・高校吹奏楽部定期演奏会 合唱部定期演奏会

市長と語ろう、私たちのまちづくり

・公演

南丹市市制施行15周年記念事業「オペラ内藤ジョアン」

文化芸術による子供の育成総合授業 東京混声合唱団 公演

・啓発

幼年消防クラブから防火の動画放送（京都中部広域消防組合）

自転車盗難の啓発に関する動画放送（南丹警察署）

ジャンボタニシ防除対策に関する動画放送（南丹市農業推進課）

マイナンバーカード取得推進に関する動画放送（南丹市市民課）

・その他

新成人へ 恩師からのメッセージ

南丹市スポーツ・文化賞表彰式

(2) 生中継放送

南丹市議会の生中継を行いました。スポーツやイベントに関してはコロナ禍で多くの行事が中止となり、無観客での取り組みや観客を密集させないための工夫として生中継で市民に伝える方



法に期待する声が多くあり、講演会などを生中継しました。

成人式では記念写真撮影が行えない代替として、式典（生中継）やインタビューの様子を盛り込んだDVDを記念品として配布することになり、その制作業務に協力しました。

法人主催の少年サッカー大会においては、感染防止対策を十分に取りながら生中継を実施し、多くの大会が取り止めとなっていた子どもたちや視聴者に元気を伝えることができました。

- ・衆議院議員選挙南丹市開票速報（文字放送による速報）
- ・南丹市議会議員一般選挙開票速報
- ・南丹市議会定例会
- ・南丹市議会臨時会
- ・南丹市成人式（記念品として式典ビデオを制作）
- ・第8回じゅういちくんカップ少年サッカー大会

### （3） 防災への取り組み、災害発生時の広報

災害時においては、緊急対応項目と災害放送についてのマニュアルに従い、緊急放送ができる体制をとっています。河川監視カメラの放送や災害発生時の市民の行動や防災について、広報番組を制作して放送しています。殿田、志和賀、保野田地域で発生した殿田浄水場の取水制限について緊急広報を行いました。

コロナ禍の対応では、市長メッセージ(手話通訳付き)や南丹市からのお知らせの迅速な放送、新型コロナワクチン接種に関するお知らせ、テイクアウト新商品の紹介等を制作しました。

### （4） 教育機関との連携

小学校、中学校、高校、大学、幼稚園、保育所等との連携を深めて情報収集を行い、各校の特色ある取組みを紹介しました。

今年度の教育現場はコロナ禍の対応に迫られ予定していた行事が年間通じて変更となりましたので、大きな行事だけでなく日常の取組みなど学校内の様子を伝えました。中学校へのアプローチを増やし、1・2年生の校外学習や3年生の修学旅行を画像にまとめ放送しました。授業参観

も行えず学校での様子が伝わりにくいなか、学校からの提供による番組枠を充実させて放送しました。文化祭等の無観客での行事も収録しました。

#### ◇教育現場と連携した番組

- ・スクールフェイス（保、幼、小学校の入学、運動会、校外学習、修学旅行、卒業等）

児童、生徒の情報教育に関する施設見学や勤労体験学習等の受け入れを行いました。

- ・勤労体験 園部中学校・園部高校附属中学校・美山中学校
- ・ゲストティーチャー派遣 園部小学校・八木西小学校・八木東小学校・美山小学校
- ・京都先端科学大学インターシップ生受入れ2名
- ・(公財)大学コンソーシアム京都インターンシップ生受入れ(龍谷大学)1名

#### (5) スポーツ・文化面で活躍する人に密着した番組制作

今年度はコロナ禍で様々な大会が中止となるなか、その代替試合で頑張る子どもたちの思いや活躍を特集で伝えました。将来オリンピックを目指す高校生を取材し地域で応援する雰囲気を作成しました。またプロとしてスポーツ・文化面で活躍する南丹市出身の人たちも取材し、子どもたちに夢や希望を与えることができました。これらの番組は子どもたちにとっても大きな励みとなると考えています。

- ・園部中学校野球部近畿大会出場
- ・園部町出身 プロ野球 東北楽天ゴールデンイーグルス 田中貴也さん
- ・美山町出身 自転車競技 岡本勝哉さん 石田 唯さん
- ・南丹市ホームタウン 京都サンガF C
- ・園部町出身 漫画家 内藤マーシーさん
- ・園部町出身 国際化学オリンピック銀メダル受賞 園部高校3年 西浦洸平さん

#### (6) 自主放送番組のアーカイブ放送

自主放送番組の過去の映像は地域の貴重な財産であり、日々の番組制作でも保存映像を番組編

集に利用する機会が増えています。地域の伝統行事や卒業、成人を迎える子どもたちの入学式の映像を再放送するなどアーカイブ放送に活用しました。特にコロナ禍において自宅でテレビを見ていただく機会が増えることから、懐かしい行事や特別番組の再放送、講演会の再放送などを積極的に行いました。

◇懐かしい映像を再編集した番組

- ・もぎたて傑作選（ニュース番組で特集した地域や季節を感じる内容）  
減災に取り組む東胡麻地区、鮎の解禁、野鳥紹介など
- ・なんたんテレビアーカイブス（地域の伝統行事や四季を感じる番組）  
日吉町多治神社田原の御田、摩気神社のお田植祭、桜、初夏、初冬の風景など
- ・新成人に贈る思い出アルバム（平成26年度中学校入学式）
- ・卒業生に贈る思い出アルバム（平成28年度小学校入学式・平成31年度中学校入学式）

#### 4. 南丹市国際交流会館管理運営業務

(1) 国際交流会館の利用状況

【利用状況（令和3年4月～令和4年3月）】

- ◇利用回数 2,125回（前年度 2,225回／100回減）
- ◇利用人数 20,528人（前年度 17,338人／3,190人増）

国、京都府及び南丹市等の要請、指示に従い、夜間利用時間の短縮、利用人数の制限、利用者への注意喚起、館内や事務所等の消毒、換気を行うなど、利用者及び職員ともに感染拡大防止対策を徹底して会館運営を行いました。

◇新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組み

- ・令和3年4月6日～4月24日 『嚴重警戒期到達を踏まえた感染再拡大防止対策』  
会館利用時間短縮（午後9時まで）
- ・令和3年4月25日～5月31日 『緊急事態措置』（午後8時まで）
- ・令和3年6月21日～7月11日 『京都府まん延防止等重点措置等』（午後9時まで）

- ・令和3年8月20日～9月30日 『緊急事態措置』（午後8時まで）
- ・令和3年10月1日～10月21日 『緊急事態措置』（午後9時まで）
- ・令和3年10月22日～ 会館利用制限を全面解除

感染拡大防止を理由とした予約取消には、キャンセル料を全額免除としました。

【感染拡大防止を理由とする予約キャンセル数とその利用料金】

◇ 270回 1,494,050円分

南丹市からの依頼を受け、新型コロナウイルスワクチン集団接種会場としてイベントホールの長期貸出を行いました。

- ・令和3年5月29日～10月31日
- ・令和4年2月15日～（令和4年度へ継続）
- ・その他にも不定期利用あり

コロナ禍でテレワークが推進されるなど働き方が見直されるなか、南丹市におけるテレワーク需要の有無を検証するため「南丹市国際交流会館テレワーク推進事業」を実施しました。

2階情報研修室の一室に6席を設け、利用時間9時～20時までを3区分に分け、個人のワーキングスペースとして部屋を提供しました。6月から12月は、事業の利用促進やテレワーク需要の検証を目的に、アンケートの協力を前提とした利用料無料のお試しキャンペーンとして実施しました。1月から3月については、一般利用500円、学生利用200円の有料貸出として実施しました。

【ワーキングスペース利用実績】

◇ 延べ人数305人（実人数51人）

京都府南丹保健所より依頼を受け乳がん検診受診による早期発見・治療の啓発（ピンクリボン活動）など、当館ライトアップによる啓発活動に協力しました。

- ・乳がん検診の啓発活動 ピンクライトアップ協力（京都府）
- ・糖尿病の予防・治療の啓発活動 ブルーライトアップ協力（京都府医師会）
- ・児童虐待防止推進運動啓発活動 オレンジライトアップ協力（京都府）
- ・配偶者等に対する暴力根絶の啓発活動 パープルライトアップ協力（南丹市人権政策課）
- ・新型コロナウイルス感染者や医療従事者などに対し、思いやりの心をもって接することを推進する活動 シトラスライトアップ協力（南丹市人権政策課）

1階ロビーを市民交流の場として活用し、サークル活動による写真や創作物の展示スペースを設けて市民活動や作品の紹介を行いました。

#### その他の取り組み

- ・共同募金運動の募金箱設置協力
- ・消防訓練（年2回）

#### （2）文化講座等の開催

文化庁の補助事業として採択された森の京都「なんたん」カレッジの公開講座や地域学芸員養成講座の開催会場として事業運営に協力し、広報、受付等の支援業務を行いました。

#### （3）国際交流事業

南丹市国際交流協会と共催して「なんたにあんKids'カーニバル」を開催しました。また各種の国際交流事業の会場として開催協力を行いました。

#### （4）計画的な施設修繕

法定点検や設備保守等を的確に実施し、安心して利用できる施設環境を提供しました。施設の維持管理については、消火用ホースの更新、展望談話室及び第一研修室の換気扇の交換、非常用照明の切り替えスイッチの交換等を行い、安全対策、利用環境の改善に取り組みました。

会館屋根瓦及び外壁等の修繕については市において実施設計が行われ、令和4年度に大規模改修工事が計画されています。

#### ◇保守点検

- ・電気設備日常点検
- ・電話交換機設備保守点検
- ・舞台吊物機構保守点検
- ・昇降機保守点検
- ・建築設備定期検査
- ・環境衛生管理業務
- ・消防用設備保守点検
- ・防火対象物定期点検
- ・空調設備保守点検
- ・地下タンク埋設配管漏洩検査
- ・ポリ塩化ビフェニール（PCB）使用有無の検査
- ・受変電設備精密点検
- ・特殊建築物定期点検

#### ◇その他保守管理

- ・定期清掃業務
- ・日常清掃業務
- ・夜間管理業務
- ・黒松剪定業務
- ・消防計画上の自主点検
- ・貯水槽の清掃
- ・地下タンク内部清掃
- ・消火器（19本）と消火栓ホース（26本）の更新
- ・照明器具交換
- ・非常用照明器具の交換
- ・貸部屋の換気扇交換
- ・誘導灯交換
- ・自家発電機触媒栓と冷却水交換
- ・泡消火設備配管パテ埋め

## 5. 地域貢献事業

### （1）森の京都「なんたん」エコミュージアム推進事業

文化庁補助事業である森の京都「なんたん」エコミュージアム推進事業は3年目を迎え、「森と共に生きる京都丹波高原国定公園～生命のふるさとからの贈り物～」をテーマに地域学芸員養成講座・公開講座を開催しました。

当法人は、協力団体として関係者との調整、広報などの運営支援を行うとともに、ケーブルテレビ事業の自主放送を活用して公開講座の収録放送を行いました。また、受託事業として文化遺産等の記録映像制作業務を実施しました。

#### ◇令和3年度文化庁 森の京都「なんたん」エコミュージアム推進事業の受託事業

- ・観光拠点整備事業

「森と共に生きる京都丹波高原国定公園～生命のふるさとからの贈り物～」制作

・地域文化財総合活用推進事業

森の京都「なんたん」カレッジ 地域学芸員養成講座・公開講座の開催支援

森の京都「なんたん」カレッジ 講義の収録・ケーブルテレビでの放送

◇森の京都「なんたん」カレッジ公開講座

- ・芦生の森からの恵み
- ・芦生の森ー過去・現在・未来を創造するー
- ・美山の火祭りー上げ松ー

◇森の京都「なんたん」カレッジ地域学芸員養成講座

- ・京都丹波高原国定公園の取組み
- ・北近畿の佛教勢力
- ・美山の仏像とその周辺
- ・諏訪神社の祭礼・芸能
- ・「北山型」民家・最古の遺構ー石田家住宅ー
- ・匠の技「美山のかやぶき」
- ・美山町北 伝建地区 美山かやぶきの里
- ・美山の建築文化 寺社を中心に（北八幡神社他）

(2) 企画収録番組・ビデオ制作・企画展

京都府、南丹市、各種事業所等から、ビデオ制作の依頼を受け制作しました。

放送大学京都学習センター、一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会、京都丹波高原国定公園ビジターセンター運営協議会と連携し、「京都丹波高原国定公園」の自然や文化遺産をテーマとしたセミナーの開催協力、収録・放送を行いました。

◇ビデオ制作

- ・中学生向け喫煙防止教室（京都府南丹保健所）
- ・二九精密機械工業株式会社 工場紹介動画制作
- ・とれたて新鮮！森の京都丹波っ！（京都府南丹広域振興局）

- ・京都丹波サイクルツーリズム推進事業に係るPR動画制作（京都府南丹広域振興局）
- ・南丹市成人式 新成人への記念DVD（南丹市）
- ・南丹市市制施行15周年記念事業「オペラ内藤ジョアン」DVD・BD制作（南丹市商工会・教育委員会）

◇その他

- ・森里文化セミナー2020「京都丹波の中世城館」開催支援、番組収録
- ・京都府南丹広域振興局 西脇知事と行き活きトーク 司会
- ・原生の森芦生 写真展の開催（京都大学フィールド科学教育研究センター芦生研究林と京都丹波高原国定公園ビジターセンター運営協議会と共催）

## 6. 法令遵守

個人情報保護規程を遵守し、管理運営並びに業務遂行上知り得た個人情報が外部に漏れることのないよう慎重な取扱いを行いました。



最後に…。

平成4年に発足し、ケーブルテレビ事業に取り組み始めた当法人にとって、30年目の節目となる今年度は変革の一年となりました。

南丹市は、令和2年10月、「南丹市ケーブルテレビ事業の在り方審議会」を設置し、審議会は3回の審議を経て令和3年1月に答申を出しました。

答申内容には、

「本事業を民間譲渡することが妥当であると判断する」

「自主放送についてはその目的及び役割が的確に果たされるよう、直営での継続を考慮に入れて十分検討されたい」

「民間譲渡するにあたっては、別途の8項目について留意した事業実施を求める」

「市民が快適で豊かな暮らしができる情報通信環境の維持確保に努めていただきたい」

と記されました。

別途8項目の中には、「公益財団法人南丹市情報センターの職員について、民間移譲後も当人が希望する場合は雇用が実現するよう配慮するとともに、他の選択を希望する場合についても十分配慮すること」と記されました。

当時、松村前理事長からは、市長に対して、南丹市において既に整備が完了している光ファイバー網の価値やその活用方法について、そして今後、市として通信環境を確保しておくことの重要性、必要性が益々高まってくることを伝えていました。

令和3年1月以降、当法人内ではケーブルテレビ事業の運営方法の検討、将来に向けての事業運営収支の試算を行い、関係事業者と協業体制構築をめざした協議を進め、当法人が民間譲渡の受け皿として本事業を引き継いでいきたいとする意志を市長に伝えました。

その後も、当法人内では「市民へのサービス提供の継続」「職員の雇用確保」に向けて、設備更

新に係る支出の抑制や、サービスの向上による収入の確保等を検討し、公益法人として安定した運営を行うため、設備更新等基金の設置を検討するとともに、「微増傾向の収入」「収入に見合った支出」「浮き沈みの小さい収支」を想定し、役職員が努力を伴いながら取り組んでいくことで自律した事業を進めていくことができると考え、当法人が受け皿になることをめざして準備を進めました。

転換点としては、5月に行われた実務者協議で市から「プロポーザルに手を挙げないなら、雇用に関して仕様書の条件を相談できる」と言われたことが大きく影響しました。

この協議に参加した管理職員の切実な声として、「プロポーザルの前に方向性を出すべき」「プロポーザルに出なければ仕様書を一緒に考えていける」「職員の生活がかかっている。そこを最優先していくほうがいい」「手を挙げないことを考えるのがベスト」「仕様書づくりに参加する」「みんなの雇用が守られること」「番組作りのサービスが守られること」などの意見が上がり、「雇用を最優先」「完全雇用を求める」という方向で意見が整理されました。

その後、数回の実務者協議が開催され、「希望する正職員全員を、事業継承する事業者が正社員として雇用する」という市からの回答が出されました。

職員説明会において、経過と市の回答を聞いた職員からは、雇用を優先しプロポーザルへの参加を見送ることについて異論はなく職員の総意として同意されました。

当法人としては、希望する職員の雇用が確実に確保されることを条件としてプロポーザルへの参加を見送ることを決定しました。

このような議論をしている最中に、ここまで先頭に立って当法人の運営を引っ張っていただいていた松村前理事長が6月28日に急逝されました。あまりに突然の事でした。ケーブルテレビ事業の行く末をまとめなければならない、これからの法人運営の在り方を見出していかなければならない、そんな大きな課題が目前にあるときに進むべき道を閉ざされてしまったような状況でした。

その後の検討材料が見いだせない中で、ケーブルテレビ事業の民間移管という直近の課題に対応しながら、今後の法人運営について協議を始めることとなり、その際には役員の皆様には的確なご意見やご助言をいただき道筋を見いだすことができました。

皆様のご助言を集約して、9月1日から永塚理事長に就任いただき、内外の課題を一つずつ解決して一歩ずつ前進していくことができました。

開局から30年を迎えた南丹市ケーブルテレビ事業は、時代の変化を受け止め、南丹市の強い意向により、民間へ施設を譲渡して民間事業者による運営を目指す「南丹市地域情報通信ネットワーク施設民間移管事業」（ケーブルテレビ事業の民営化）が推し進められました。

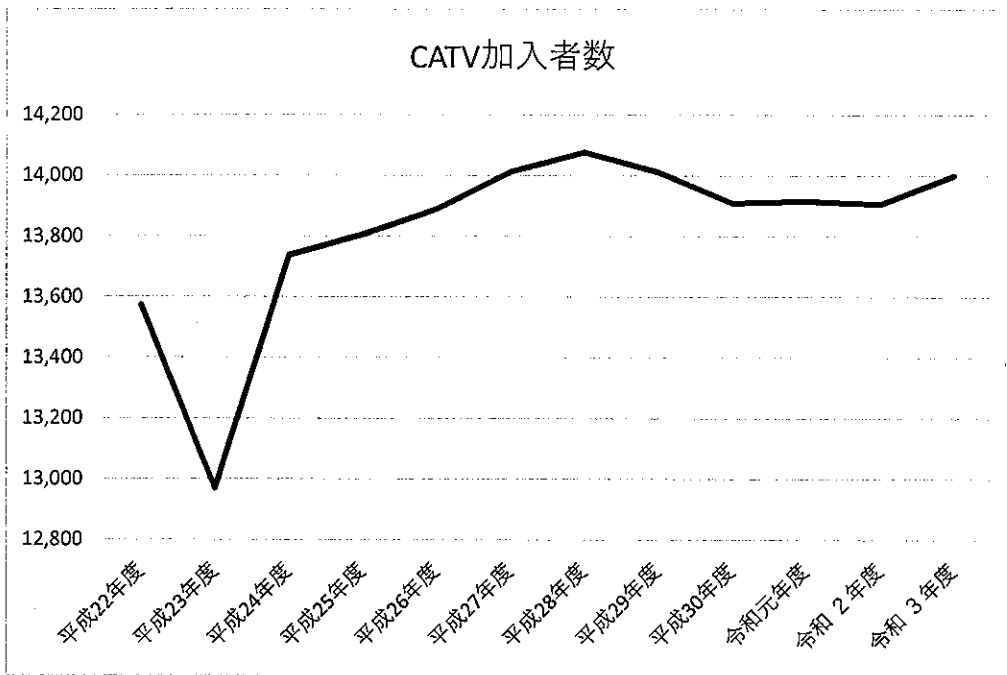
当法人が運営してきた南丹市ケーブルテレビ事業は令和4年3月末をもって指定管理協定が終了しました。旧園部町時代から取り組んできたケーブルテレビ事業は、これまで民間事業者が参入しえなかった中山間地域において都市部と遜色のない情報通信環境を構築してサービス展開し提供してきたことが評価され、南丹市地域情報通信ネットワーク施設民間移管事業（プロポーザル）に複数の民間事業者が応募してきたことに繋がりました。これは、この地域の情報通信サービスが民間事業者にとっても魅力あるものに成長したことを表しており、30年間の事業の成果として一定の役割を果たしたものと考えています。

事業の民間移管に際して、当法人に在籍し転籍を希望した職員17名全員は令和4年3月31日に退職し、4月1日に「株式会社KCNなんたん」に入社しました。これまでの取り組みを評価いただいたものと受け止め、事業を継承された近鉄ケーブルネットワーク株式会社に厚く御礼申し上げます。

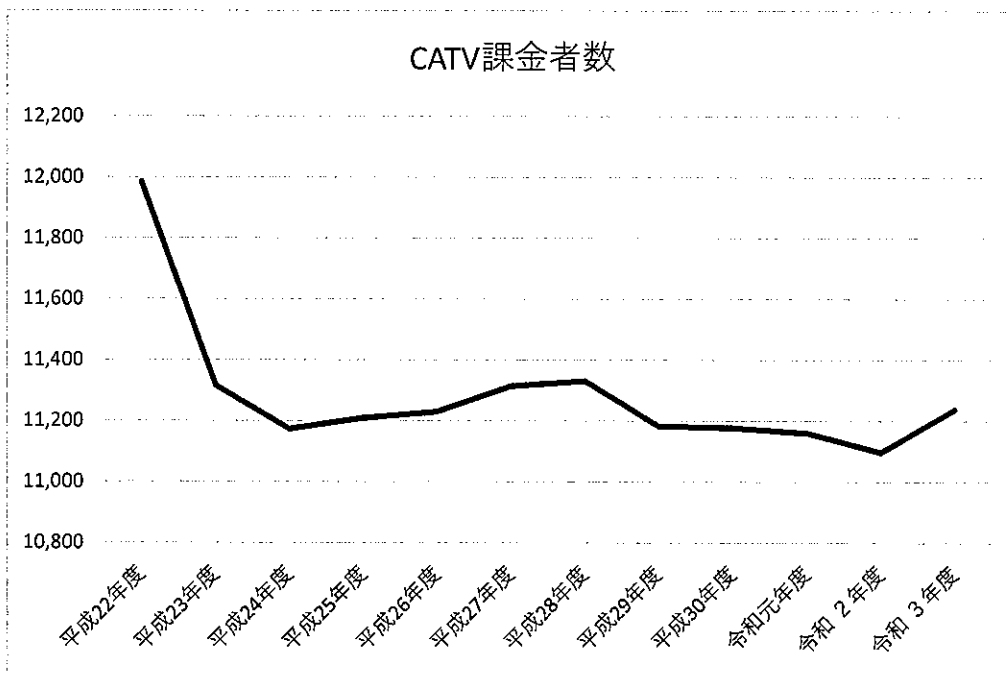
当法人は、これからも30年間の番組制作や取材等を通じた映像制作活動及び地域振興イベント等により、この間に培ってきた地域とのつながり、地域情報の把握、映像業界との関わりを活かして、地域の人材活用と活性化を図るソフト面の取り組みを実施するとともに、地域の有形・無形の文化財、芸能、風習等の記録が貴重な文化遺産として保存、活用されるよう取り組みを進めてまいります。

また、当法人発足時に立ち返り、この地域の振興と活性化に取り組む各種団体や高等教育機関等との連携により、南丹市国際交流会館を地域の集約的な活動、運営拠点とし南丹市内外の地域、住民や各種団体に向けた地域振興事業を実施するなど、より一層の注力をもって地域の振興、発展に寄与してまいり所存です。

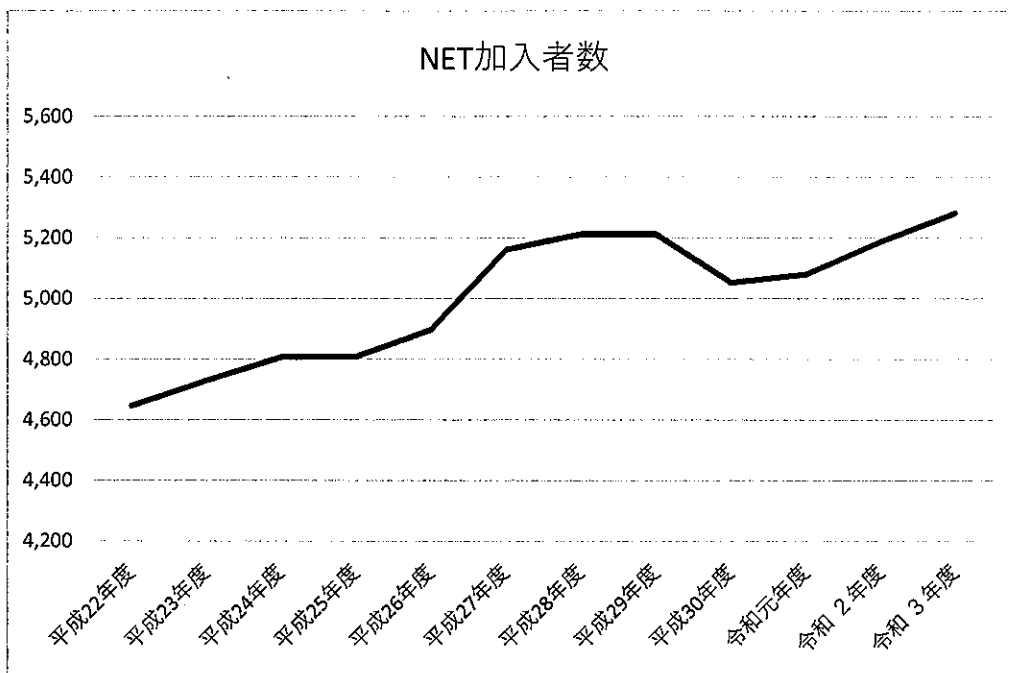
これまで多岐にわたり事業推進にご支援いただきました地域、団体、行政関係者の皆様並びに当法人運営に多大なるご尽力を賜りました役職員及び出捐団体の皆様に御礼を申し上げまして、令和3年度の事業報告とさせていただきます。



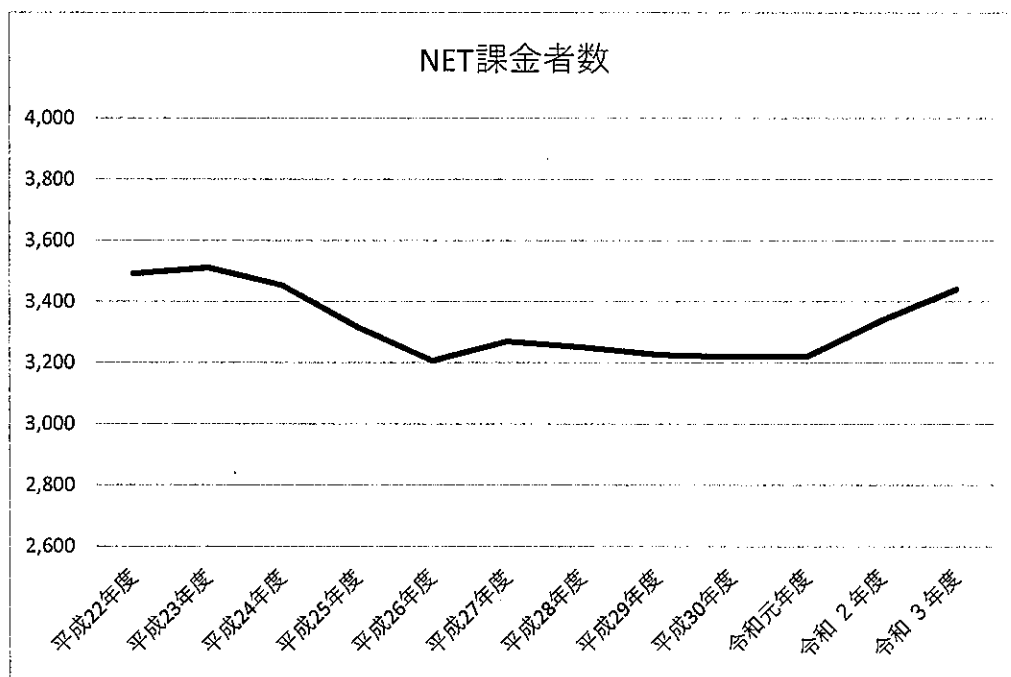
CATV加入者数	
平成22年度	13,574
平成23年度	12,969
平成24年度	13,737
平成25年度	13,806
平成26年度	13,891
平成27年度	14,013
平成28年度	14,077
平成29年度	14,012
平成30年度	13,910
令和元年度	13,916
令和2年度	13,906
令和3年度	14,001



CATV課金者数	
平成22年度	11,985
平成23年度	11,317
平成24年度	11,173
平成25年度	11,210
平成26年度	11,230
平成27年度	11,314
平成28年度	11,331
平成29年度	11,183
平成30年度	11,178
令和元年度	11,161
令和2年度	11,097
令和3年度	11,238



NET加入者数	
平成22年度	4,646
平成23年度	4,730
平成24年度	4,806
平成25年度	4,809
平成26年度	4,898
平成27年度	5,161
平成28年度	5,212
平成29年度	5,212
平成30年度	5,052
令和元年度	5,080
令和2年度	5,188
令和3年度	5,282



NET課金者数	
平成22年度	3,492
平成23年度	3,511
平成24年度	3,453
平成25年度	3,317
平成26年度	3,207
平成27年度	3,270
平成28年度	3,252
平成29年度	3,227
平成30年度	3,220
令和元年度	3,221
令和2年度	3,340
令和3年度	3,440